

第20回CPC

「消化管間質性腫瘍の1例」

開催日：平成25年6月26日(水)

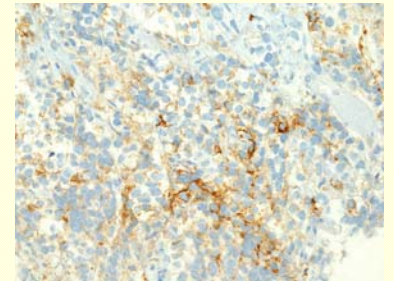
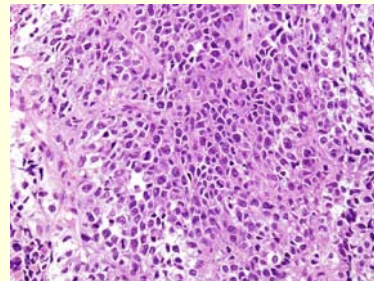
時間：17:30~19:00

場所：病院本館C41講義室

関連科：一般消化器外科、消化器内科、腫瘍内科、
第一病理、臨床病理

司会：尾崎 一晶 先生 (肝胆膵内科)
上西 博章 先生 (総合診療科)

ミニレクチャー：武藤 耕平 先生
(ノバルティスファーマ株式会社)



CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、今回は消化管間質性腫瘍(GIST)に関するミニレクチャーを予定しています。

症例：70歳代 男性

臨床経過：食事に無関係に心窩部痛と黒色弁を認めるようになり、3回にわたる胃内視鏡検査の結果、消化管間質性腫瘍(GIST)と診断された。膵・脾に浸潤を認め、手術適応外とされ、分子標的薬が開始されたが、食欲不振が顕著になったため内服が中止された。その後、全身状態が悪化し、永眠された。

上図は生検時のHE像とc-kit免疫染色

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部(内線 5348)